

検疫衛生課業務実績

【検疫業務実績】

(1) 船舶の検疫

当所が管轄する6か所の検疫港（阪神港（大阪区、堺泉北区）、敦賀港、内浦港、舞鶴港、阪南港、和歌山下津港）及び3か所の無線検疫指定港（無線検疫制度の運用について〔昭和45年12月11日付け衛発第871号厚生省公衆衛生局長通知〕に基づき定められている港：宮津港、福井港、田辺港）において船舶の検疫業務を実施している。

COVID-19の世界的流行により、定期貨客船及びクルーズ客船の国際運航は2020年3月から停止していたが、2022年以降の水際措置緩和に伴い、阪神港（大阪区）では2022年11月に一部の定期貨客船の運航が再開した。クルーズ客船においても運航が再開され、2023年3月以降に当所が管轄する各港へ入港している。阪神港（大阪区）では、2023年4月に入港したクルーズ客船2隻について、前港の検疫後に新たに新型コロナウイルス感染症を疑う乗客の情報が通報されたため、当所で再度検疫を実施した特殊な事例があった。

新型コロナウイルス感染症が検疫感染症に指定されてから除外されるまでの期間に当所の検疫で確認された陽性者数は以下の表のとおりで、いずれも複数名の陽性者であった。

○ 新型コロナウイルス感染症陽性者数

年次	陽性者数	船舶の種類	港名
2021年	17	貨物船	阪神港（大阪区）
2022年	14	貨物船	阪神港（堺泉北区）
2023年	2	クルーズ船	阪神港（大阪区）
	4	クルーズ船	阪神港（大阪区）
合計	37		-

○ 船舶の検疫実績（2021年）

港名	船舶数及び検疫人員							
	臨船検疫		着岸検疫		無線検疫		計	
	船舶数	人員	船舶数	人員	船舶数	人員	船舶数	人員
阪神港 (大阪区・堺泉北区)	8	153	16	325	3,538	65,288	3,562	65,766
敦賀港	-	-	-	-	210	3,634	210	3,634
(福井港)	-	-	-	-	52	830	52	830
小計	-	-	-	-	262	4,464	262	4,464
内浦港	-	-	-	-	53	888	53	888
舞鶴港	-	-	-	-	183	4,109	183	4,109
(宮津港)	-	-	-	-	16	308	16	308
小計	-	-	-	-	199	4,417	199	4,417
阪南港	-	-	2	2	58	935	60	937
和歌山下津港	4	85	1	23	332	5,968	337	6,076
(田辺港)	-	-	-	-	-	-	-	-
小計	4	85	1	23	332	5,968	337	6,076
合計	12	238	19	350	4,442	81,960	4,473	82,548

備考：港名の（ ）書きは無線検疫対象港

○ 船舶の検疫実績（2022年）

港名	船舶数及び検疫人員							
	臨船検疫		着岸検疫		無線検疫		計	
	船舶数	人員	船舶数	人員	船舶数	人員	船舶数	人員
阪神港 (大阪区・堺泉北区)	2	36	31	1,931	3,326	62,699	3,359	64,666
敦賀港	-	-	-	-	200	3,468	200	3,468
(福井港)	-	-	-	-	91	1,354	91	1,354
小計	-	-	-	-	291	4,822	291	4,822
内浦港	-	-	-	-	57	907	57	907
舞鶴港	-	-	-	-	131	2,683	131	2,683
(宮津港)	-	-	-	-	13	254	13	254
小計	-	-	-	-	144	2,937	144	2,937
阪南港	-	-	-	-	83	1,377	83	1,377
和歌山下津港	2	48	4	87	311	5,594	317	5,729
(田辺港)	-	-	-	-	-	-	-	-
小計	2	48	4	87	311	5,594	317	5,729
合計	4	84	35	2,018	4,212	78,336	4,251	80,438

備考：港名の（ ）書きは無線検疫対象港

○ 船舶の検疫実績（2023年）

港名	船舶数及び検疫人員							
	臨船検疫		着岸検疫		無線検疫		計	
	船舶数	人員	船舶数	人員	船舶数	人員	船舶数	人員
阪神港 (大阪区・堺泉北区)	4	80	61 [3]	12,066	3,378 [1]	83,672	3,443 [4]	95,818
敦賀港	-	-	-	-	184	3,223	184	3,223
(福井港)	-	-	-	-	65	1,017	65	1,017
小計	-	-	-	-	249	4,240	249	4,240
内浦港	-	-	-	-	54	798	54	798
舞鶴港	-	-	1	6	143	2,357	144	2,363
(宮津港)	-	-	-	-	8	159	8	159
小計	-	-	1	6	151	2,516	152	2,522
阪南港	-	-	1	17	71	1,176	72	1,193
和歌山下津港	3	57	1	26	276	5,061	280	5,144
(田辺港)	-	-	-	-	-	-	-	-
小計	3	57	1	26	276	5,061	280	5,144
合計	7	137	64 [3]	12,115	4,179 [1]	97,463	4,250 [4]	109,715

備考：港名の（ ）書きは無線検疫対象港

[] 書きはクルーズ客船実績

(2) 航空機の検疫

当所の管轄区域内には検疫飛行場²に指定されている空港はないが、臨時便等の航空機に対する検疫については特例措置として対応している。2020年から2022年までは実績がなかったが、2023年7月には南紀白浜空港にベトナムから2便の国際チャーター機が来航したため検疫を行った。また、国際チャーター機以外では、急病人の発生等で海上保安庁の航空機が洋上で外航船舶と接触した場合においても航空機の検疫を実施するが、2023年は実績がなかった。

○ 航空機の検疫実績（2023年）

飛行場名	船舶数及び検疫人員	
	機数	人員
南紀白浜空港	2	279

(3) 黄熱予防接種

黄熱の予防接種は国際保健規則（IHR2005）において国際的に要求されている予防接種であり、国際予防接種証明書（イエローカード）の提示を入国時に求められる場合がある。

2022年3月24日に当所による黄熱予防接種業務は終了し、2022年4月以降は黄熱予防接種実施機関に指定された大阪市立総合医療センターが実施している。

○ 黄熱予防接種の実績

年次	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2021年	26	30	21	0	29	14	22	27	28	23	36	26	282
2022年	18	20	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	68
2023年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

² 検疫法施行令第1条の2に定める飛行場。基本的に外国から来航した航空機は、検疫飛行場で検疫を受けなければ、検疫飛行場以外の国内のいかなる場所にも着陸させることができない。

(4) 海外感染症情報の収集及び提供

海外における感染症の発生や流行の報告は日々更新されており、我が国に影響を及ぼす可能性のある情報を WHO の公式サイト等から収集している。

これらの情報については、関係機関及び船舶代理店に対して FAX 及びメールで提供している。また、大阪港国際フェリーターミナル、大阪府パスポートセンター、南紀白浜空港、大阪掖済会病院、大阪みなと中央病院及び船員保険大阪健康管理センターにポスターを掲示し、感染症に関する注意喚起や啓発を行っている。

【衛生業務実績】

(1) 港湾区域の衛生調査

検疫感染症や検疫感染症に準ずる感染症を媒介するねずみ族及び蚊族等が当所管内の港湾区域に侵入又は定着していないことを確認するために、調査対象区を設定して定期的な捕獲調査を行っている。当所が捕獲したねずみ族については解剖検査及び外部・内部寄生虫の捕集並びに種類の同定を実施し、ペスト菌及び腎症候性出血熱ウイルス抗体検査用の採血を行っている。蚊族についても種の同定を行い、ウイルス遺伝子検査等の検査を実施している。2023年は阪神港（堺泉北区）、阪南港及び和歌山下津港でねずみが捕獲され、蚊については当所が管轄する全ての港で捕獲されたが、いずれも在来種で病原体は検出されなかった。

○ ねずみ族調査の実績（阪神港(大阪区・堺泉北区)）

年次	調査 延日数	捕そ器 設置延数	捕獲個体数（頭）		捕そ率	外内部 寄生虫	病原体 保有検査
			ハツカネズミ	トブネズミ			
2021年	22	400	1	0	0.3%	なし	陰性
2022年	30	540	0	0	-	-	-
2023年	58	1,160	1	0	0.1%	なし	陰性

○ ねずみ族調査の実績（出張所管轄港）

年次	港名	調査 延日数	捕そ器 設置延数	捕獲個体数（頭）			捕そ率	外内部 寄生虫	病原体 保有検査
				ハツカネズミ	トブネズミ	アカネズミ			
2021年	敦賀港	12	156	0	0	0	-	-	-
	内浦港	6	120	0	0	2	1.7%	なし	陰性
	舞鶴港	12	192	0	0	0	-	-	-
	阪南港	6	120	0	0	0	-	-	-
	和歌山下津港	12	240	0	0	0	-	-	-
2022年	敦賀港	12	156	1	0	0	0.6%	なし	陰性
	内浦港	6	120	1	0	0	0.3%	なし	陰性
	舞鶴港	12	192	0	0	0	-	-	-
	阪南港	10	200	0	0	0	-	-	-
	和歌山下津港	20	400	0	0	0	-	-	-
2023年	敦賀港	12	156	0	0	0	-	-	-
	内浦港	6	120	0	0	0	-	-	-
	舞鶴港	12	192	0	0	0	-	-	-
	阪南港	18	280	2	0	0	0.7%	なし	陰性
	和歌山下津港	36	720	1	0	0	0.1%	なし	陰性

○ 蚊族幼虫調査の実績（阪神港(大阪区・堺泉北区)）

年次	調査 延日数	捕獲個体数（匹）				
		ヒトスジシマカ	アカイエカ群	トウコウヤブカ	トラフカクイカ	カクイカ
2021年	3	18	0	0	0	0
2022年	3	10	4	0	0	0
2023年	3	29	0	0	0	0

○ 蚊族成虫調査の実績（阪神港(大阪区・堺泉北区)）

年次	調査 延日数	捕獲個体数（匹）					病原体 保有検査
		ヒトスジシマカ	アカイエカ群	イナトミシカ	コカクタアカイエカ	オオクロヤブカ	
2021年	3	409	153	0	0	0	陰性
2022年	3	395	162	0	0	0	陰性
2023年	3	198	105	0	0	0	陰性

○ 蚊族幼虫調査の実績（出張所管轄港）

年次	港名	調査 延日数	捕獲個体数（匹）						
			ヒトスジシマカ	アカイエカ群	コカクタアカイエカ	トウコウヤブカ	ヤマトヤブカ	トラフカクイカ	キンバラナガハシカ
2021年	敦賀港	3	2	21	0	0	0	4	0
	内浦港	3	7	18	0	0	0	1	0
	舞鶴港	3	3	11	0	0	2	3	0
	阪南港	4	11	9	0	0	0	1	0
	和歌山下津港	4	0	5	0	0	0	0	0
2022年	敦賀港	3	0	3	0	2	18	0	0
	内浦港	3	5	0	0	5	5	4	2
	舞鶴港	3	7	3	0	0	3	0	0
	阪南港	5	19	9	0	0	0	0	0
	和歌山下津港	5	0	0	0	4	0	0	0
2023年	敦賀港	3	3	12	0	4	17	3	0
	内浦港	3	0	1	0	9	9	2	1
	舞鶴港	3	0	7	0	0	15	0	0
	阪南港	5	20	19	0	0	0	0	0
	和歌山下津港	5	8	2	0	0	0	3	0

○ 蚊族成虫調査の実績（出張所管轄港）

年次	港名	調査 延日数	捕獲個体数（匹）							病原体 保有検査
			ヒトスジ シマカ	アカイエカ 群	コガタ アカイエカ	オオクロヤ ブカ	ヤマト ヤブカ	シロカタ ヤブカ	カラツ イエカ	
2021年	敦賀港	3	32	72	0	0	0	0	0	陰性
	内浦港	3	1	15	0	0	3	3	0	陰性
	舞鶴港	3	18	30	0	0	0	0	0	陰性
	阪南港	4	82	30	0	0	0	0	0	陰性
	和歌山下津港	4	415	739	0	0	0	0	0	陰性
2022年	敦賀港	3	23	27	0	0	0	0	0	陰性
	内浦港	3	0	0	0	0	0	0	0	陰性
	舞鶴港	3	4	4	0	0	0	0	0	陰性
	阪南港	5	85	6	0	0	0	0	0	陰性
	和歌山下津港	5	112	69	0	0	1	0	0	陰性
2023年	敦賀港	3	7	28	0	0	0	0	0	陰性
	内浦港	3	0	0	0	0	0	0	0	陰性
	舞鶴港	3	4	6	0	0	0	0	0	陰性
	阪南港	5	55	33	0	0	0	0	0	陰性
	和歌山下津港	5	174	228	0	0	0	0	0	陰性

(2) 船舶の衛生検査

国際航行する船舶は、船舶を介した感染症の拡大防止のため、船内の衛生状態を良好に保つことが国際保健規則（IHR2005）によって定められている。

当所では、船舶代理店等からの申請に基づき、ねずみ族や蚊族等の感染症媒介体の有無及び船内の総合的な衛生管理等についての検査を行い、船舶衛生管理（免除）証明書の交付及び衛生状態の改善指導等を実施している。

○ 船舶の衛生検査件数

年次	阪神港 (大阪区・ 堺泉北区)	敦賀港	内浦港	舞鶴港	阪南港	和歌山 下津港	計	要管理 件数
2021年	48	2	0	10	2	45	107	0
2022年	27	1	0	3	0	26	57	0
2023年	37	1	0	6	0	18	62	0

(3) 動物の輸入届出

感染症法第56条の2の規定に基づき、海外から持ち込まれる生きた陸生哺乳類及び鳥類並びに齧歯類の死体の輸入届出について審査を行っている。

2023年には、生きた齧歯目（ハムスター）生体及び猛禽類等の餌用の齧歯目の死体の届出を受理した。

○ 動物の輸入届出件数

年次	生きた齧歯目(件)					齧歯目の死体(件)		計(件)
	ジャンガリアン ハムスター	ロボロフスキー ハムスター	パンダ マウス	ゴールデン ハムスター	アメリカ モモンガ	ラットの 死体	マウスの 死体	
2021年	25	25	4	23	0	3	3	83
2022年	22	22	0	22	0	2	2	70
2023年	20	20	9	20	0	4	4	77

【関係機関との連携】

(1) 検疫総合措置訓練の実施

2023年7月25日、舞鶴港旅客ターミナルにおいて、入港したクルーズ客船の乗客に新型インフルエンザを疑う患者が発生した想定で、関係機関と共に検疫総合措置訓練を実施した。また、訓練の終了後、当所の患者搬送車で当該患者を京都府立医科大学附属北部医療センターに搬送し、連絡体制及び引継内容について確認した。

(2) 健康危機管理連絡会議の開催

検疫感染症等発生時の円滑な対応や海外で流行している感染症の情報を共有することを目標に、阪神港（大阪区・堺泉北区）、阪南港、敦賀港、舞鶴港、和歌山下津港の各港で健康危機管理連絡会議を開催して検疫業務を説明し、各港の関係機関と協力依頼事項を共有した。

(3) 阪神港（大阪区・堺泉北区）衛生管理運営協議会の開催

阪神港（大阪区・堺泉北区）の関係機関が協力し、港湾区域等の総合的衛生管理の向上を目的とし開催した。年間の衛生対策の実施状況を関係機関で共有し、次年度の計画を策定した。